

第 143 回 先カンブリア時代

■地質時代について説明せよ。

- ・ 地球上に最初の堆積岩ができてから、現在にいたるまでの期間
- ・ 相対年代：地層の上下関係や化石によって分類
先カンブリア時代、古生代、中生代、新生代
- ・ 絶対年代：年数による分類
放射性同位体を利用して、相対年代とすり合わせ
- ・ 先カンブリア時代
- ・ 古生代：カンブリア紀、オルドビス紀、シルル紀、デボン紀、石炭紀、二畳紀
- ・ 中生代：三畳紀、ジュラ紀、白亜紀
- ・ 新生代：第三紀、第四紀

※語呂合わせ：寒ブリが old だと知るデブが、石炭を二畳の部屋で焚く。三畳のジュラシックパークじゃ白ける三四郎。

※絶対年代は、「5.4 億年前」から「0.5 億年間隔の等差数列」で対処しよう

■先カンブリア時代の生物の変遷と、動物群を述べよ。

- ・ 35～40 億年前：最初の生物（嫌気性菌？独立栄養細菌？）
- ・ シアノバクテリア：ストロマトライト、縞状鉄鉱層
- ・ 酸素の増加：好気性菌の登場→真核生物の登場（共生説）
オゾン層（→後の時代の生物の陸上進出へ）
- ・ 多細胞生物の登場：エディアカラ生物群

※真核生物の登場や、多細胞生物の登場には「全球凍結」などの厳しい環境変化が一つの要因になったとも考えられている